

卒業生調査(2020年度実施)

調査目的:卒業生を対象に、大学での学修が卒業認定・学位授与方針に定められた資質・能力の修得に資するものであったか、学位プログラムを通じて身に付けた資質・能力が、進学先や就職先でどのように役立っているかなどを明らかにし、今後の教育改善に向けた検討材料とする。

- ・ 調査対象:横浜創英大学卒業生(2015～2018年度卒)
- ・ 調査方法:インターネットによるアンケート調査
- ・ 調査期間:2020年4月11日～2020年5月10日
- ・ 調査内容:
 - Q1.卒業年度
 - Q2.卒業学科
 - Q3.現在お住まいの都道府県
 - Q4.社会(職場)で必要とされている能力と大学時代の学修で身につけた能力
 - Q5.大学時代の学修によって身につけた能力・姿勢
 - Q6.在学中に身につけておきたかった能力
 - Q7.志望順位
 - Q8.大学生活の満足度
 - Q9.大学推奨度
 - Q10.同窓会について
 - Q11.大学への意見
 - Q12.インセンティブの希望
- ・ 発送数:551人(看護学科:329人、幼児教育学科:222人)
- ・ 集計対象数:205人(※Amazonギフト500円分のインセンティブあり、登録者数146人)
- ・ 回収率:37%(看護学科:35.0%、幼児教育学科:40.1%)
- ・ 回答者属性別件数:看護学部看護学科115件・こども教育学部幼児教育学科90件

調査概要 卒業年度別	件数
2015年度(2016年3月卒)	32
2016年度(2017年3月卒)	41
2017年度(2018年3月卒)	66
2018年度(2019年3月卒)	66
合計	205

2020 卒業生調査

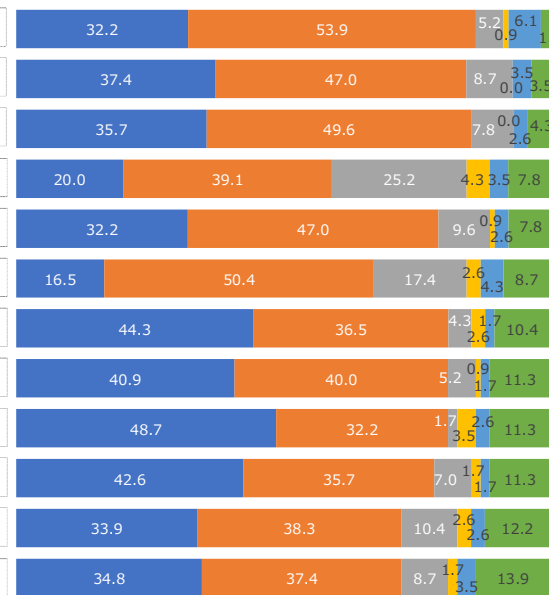
■必要度／修得度（看護学部）：リテラシー 2020

(n=115)

リテラシー	情報収集力	様々な情報の特性が理解できる
		課題に応じて、どのような情報を収集すべきか判断できる
		収集した情報の信頼性を適切に判断できる
	情報分析力	図表から、的確にその内容を読み取れる
		文章から、的確にその内容を捉えられる
		図表や文章から読み取った内容を、論理的に整理できる
	課題発見力	様々な観点から現状を捉え、問題点を見い出せる
		問題点を客観的に整理できる
		どの問題から解決すべきか、適切に優先順位をつけられる
	構想力	様々な観点から問題の解決策を考えられる
		諸々の条件を踏まえ、問題の解決に有効な方策を選択できる
		問題解決の方策に沿って、具体的な行動計画を立てられる

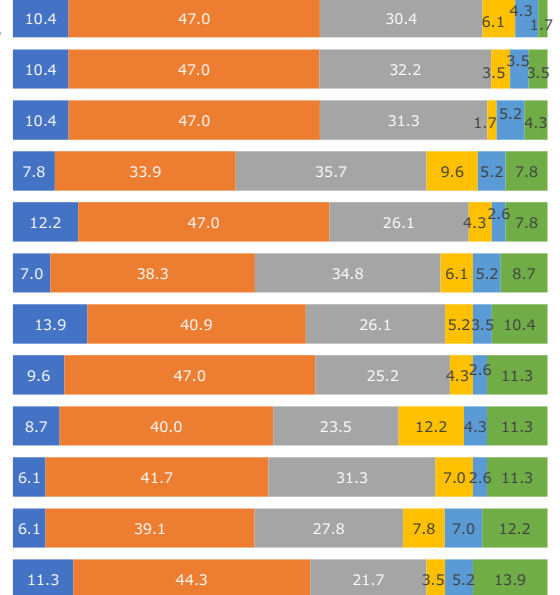
必要度：社会(職場)で必要とされている

■よくあてはまる ■ある程度あてはまる ■あまりあてはまらない
 ■全くあてはまらない ■わからない ■無回答



修得度：大学時代の学修によって身についた

■よくあてはまる ■ある程度あてはまる ■あまりあてはまらない
 ■全くあてはまらない ■わからない ■無回答



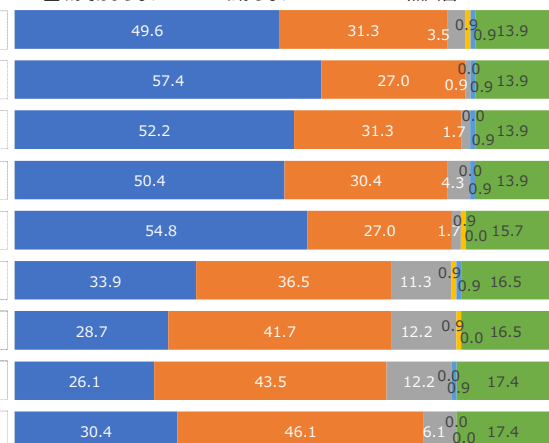
■必要度／修得度（看護学部）：コンピテンシー対人基礎力 2020

(n=115)

コンピテンシー対人基礎力	親和力	誰に対しても、和やかに接することができる
		人から相談された際に、相手の話を真剣に聞ける
		相手の信頼を得て、豊かな人間関係を築くことができる
	協働力	チームや集団の中で担うべき自分の役割を自覚できる
		周囲と連携を取り、協力しながら仕事を進められる
		相手の状況に応じて、適切なアドバイスができる
	統率力	周りの人と意見が異なる場合でも、自分の意見を述べられる
		建設的な議論となるように、チームや集団に働きかけができる
		相手の立場を考慮しながら、意見調整を進められる

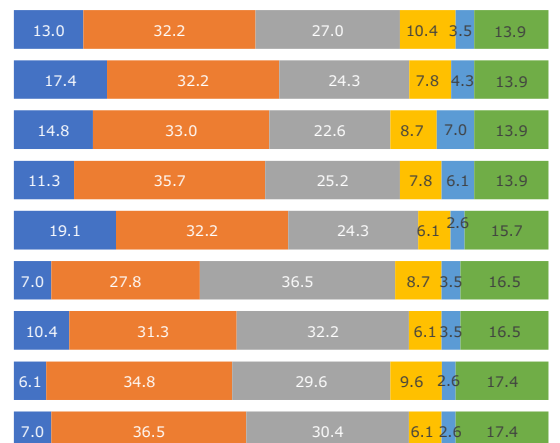
必要度：社会(職場)で必要とされている

■よくあてはまる ■ある程度あてはまる ■あまりあてはまらない
 ■全くあてはまらない ■わからない ■無回答



修得度：大学時代の学修によって身についた

■よくあてはまる ■ある程度あてはまる ■あまりあてはまらない
 ■全くあてはまらない ■わからない ■無回答



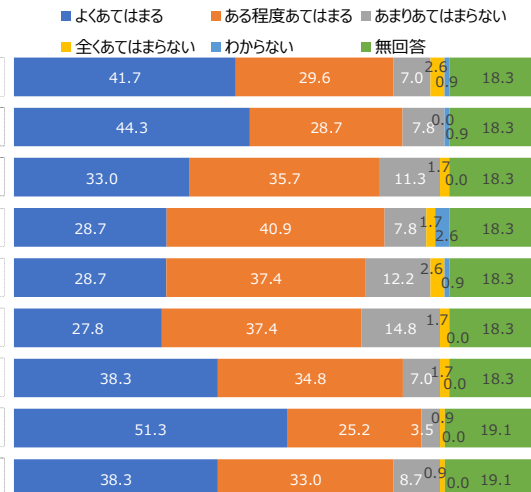
2020 卒業生調査

■必要度／修得度（看護学部）：コンピテンシー対自己基礎力 2020

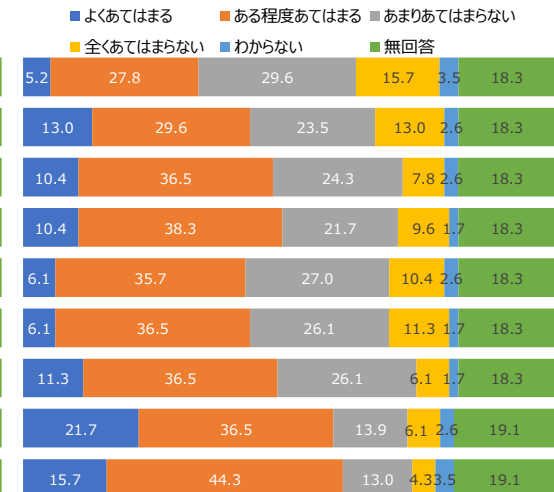
(n=115)

コンピテンシー対自己基礎力	感情制御力	プレッシャーがかかる場面でも、落ち着いて対応できる
		ストレスにうまく対処し、感情をコントロールできる
		難しい課題に対しても前向きに取り組める
	自信創出力	自分の長所と短所を的確に把握している
		自分の読みや持ち味を活かすべく行動できる
		未経験のことにも、臆せずに取り組める
	行動持続力	自発的に行動できる
		専任感を持ってやり遂げる
		常に主体的に学び続ける姿勢を持っている

必要度：社会(職場)で必要とされている



修得度：大学時代の学修によって身についた

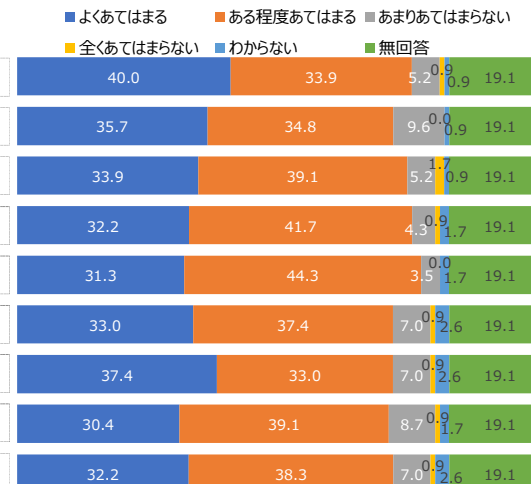


■必要度／修得度（看護学部）：コンピテンシー対課題基礎力 2020

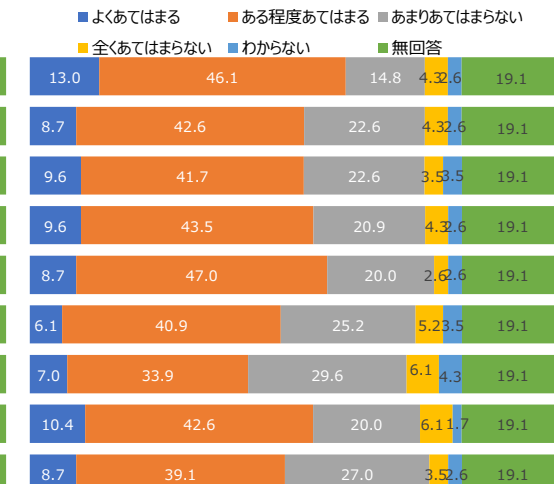
(n=115)

コンピテンシー対課題基礎力	課題発見力	課題に応じ、適切に情報を収集できる
		客観的な視点でデータを整理・分析し、問題点を把握できる
		問題が生じた原因について、様々な観点から考えられる
	計画立案力	問題解決に向けて、明確な目標を立てられる
		問題解決に向けて、目標に沿った具体的な計画を立てられる
		問題解決に向けて、立案した計画の実現性を吟味できる
	実践力	問題を解決すべく計画を推進しながら、想定外の事態に応じて行動を修正できる
		問題を解決するためにとった行動を振り返り、課題を把握できる
		把握した課題を念頭におき、同様の事態に対して適切に対応できる

必要度：社会(職場)で必要とされている



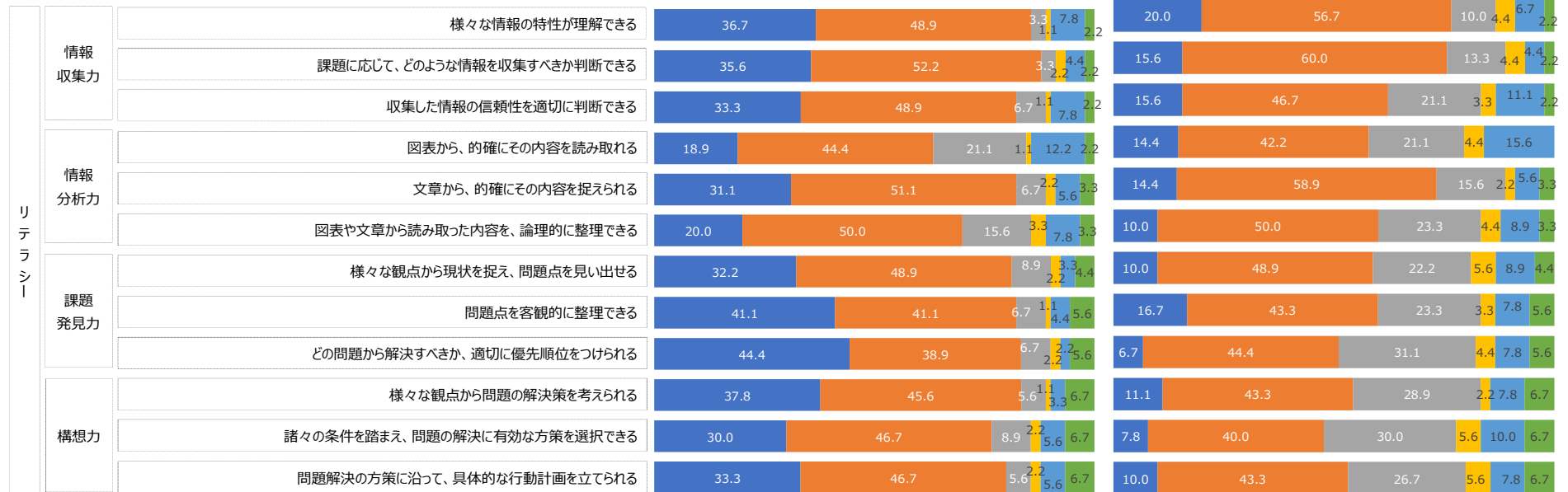
修得度：大学時代の学修によって身についた



2020 卒業生調査

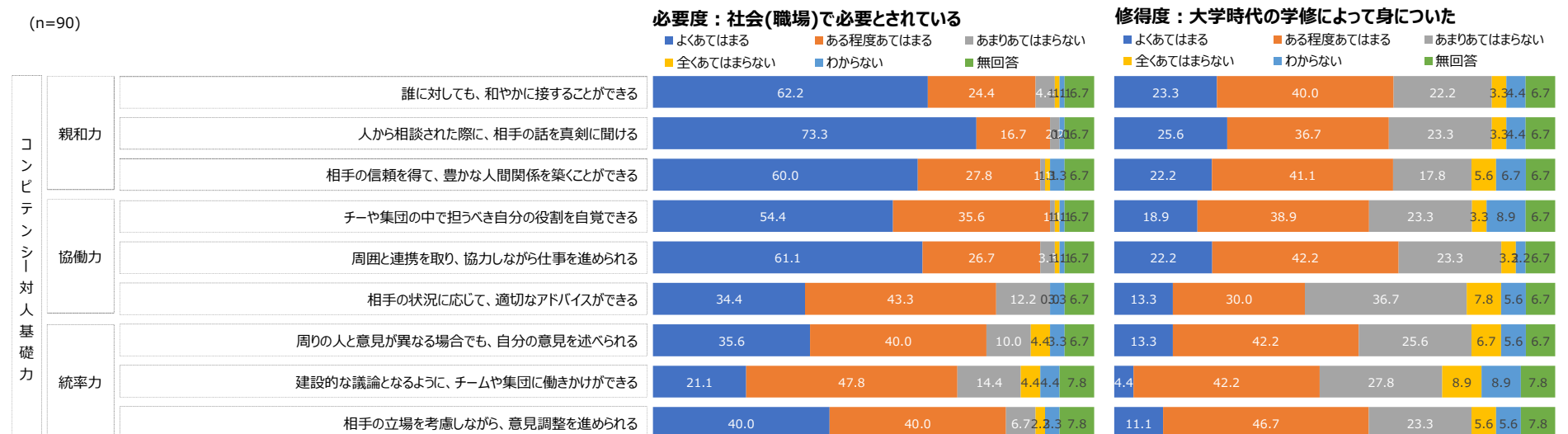
■必要度／修得度（こども教育学部）：リテラシー 2020

(n=90)



■必要度／修得度（こども教育学部）：コンピテンシー対人基礎力 2020

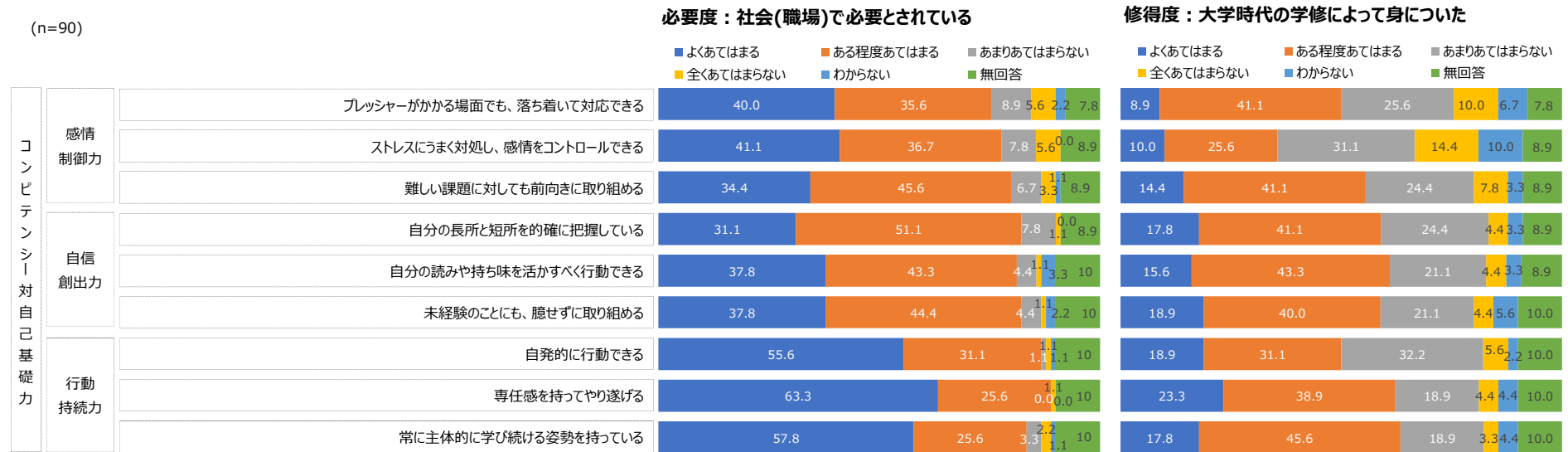
(n=90)



2020 卒業生調査

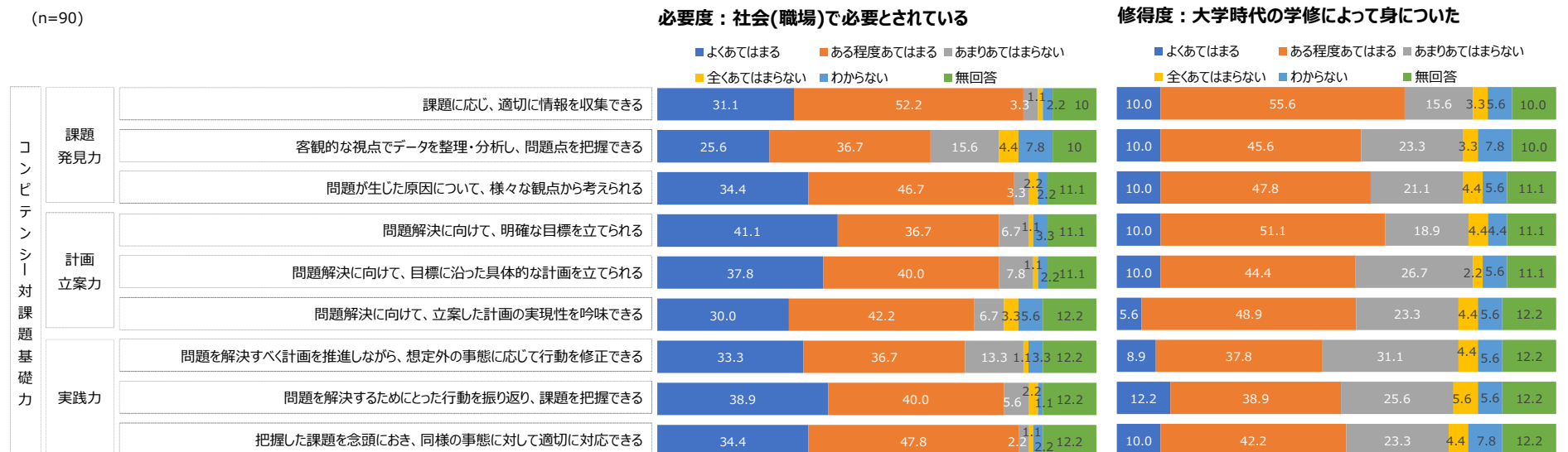
■必要度／修得度（こども教育学部）：コンピテンシー対自己基礎力 2020

(n=90)



■必要度／修得度（こども教育学部）：コンピテンシー対課題基礎力 2020

(n=90)



■ 満足度(看護学部・こども教育学部) 2020

● 大学生活に対する総合的な満足度

